

ひだかしんきん 地区内経済概況



***** 目 次 *****

業種別総括 令和 1年10月

概 況	1
漁業・水産加工業	2
農業・軽種馬生産業	3
建設業	3
木材・製材業	4
卸・小売業・観光	4
倒産・雇用状況	5
その他	5
指 標	6~7
トピッ ク	8
インフォメーション	9

《業種別総括》

概況

令和1年10月

〔漁業〕

- ・ 10月の総水揚げは、漁獲量は前年を上回り、漁獲金額は前年を下回った。秋サケ定置網漁は、回復が期待されたが水揚げは低調で、前年比1,865ト、15億4,600万円減少している。漁獲量では、広尾地区のイワシ漁が好調で、26,996トと前年比9,904トの増加となっている。広尾のシシャモ漁が解禁となったが、天候不順もあり124トと前年比89トの減少となっている。

〔農業・軽種馬生産業〕

- ・ 今年度最後のサラブレッド競り市「オータムセール」が16日、2日間の日程を終了した。432頭が上場し、320頭が売却、売却総額は10億2,377万円(税込)。売却率は74.1%だった。
- ・ 2019年の北海道市場はオータムセールで全日程を終了させた。5開催10日間の総売上は118億1,100万円(税込)となり、100億円を3年連続で突破。17年に記録した116億1,200万円(税込)を上回る年間レコードとなった。

〔建設〕

- ・ 町発注工事(新ひだか～広尾地区)の月中発注額は1億8,900万円で、前年を4,700円上回った。
- ・ 日高管内における国・道・町発注公共工事の月中請負金額(北海道建設業信用保証株の保証請負金額)は17億7,100万円で前年を7億2,400万円上回った。
- ・ 月中建築確認申請件数(新ひだか～広尾地区)は、8件で、前年を3件上回った。

〔卸・小売業・飲食〕

- ・ 広尾町で、特産のシシャモを味わい、プレゼント抽選に応募できる「ししゃもラリー」が12日、町内でスタートした。期間は11月17日まで。参加加盟店で商品を購入しスタンプ1個を専用用紙に押印。スタンプ数に応じて、1,000円～5,000円相当の特産品や水産加工品が抽選で当たる。

〔観光・その他〕

- ・ 浦河町教育委員会は10月26、27の両日、札幌市内や近郊の大学で学ぶ8カ国20人の留学生を招待し、浦河の魅力情報を発信してもらうモニターツアーを行い、参加者はアイヌ料理の試食や乗馬などを体験した。町教委は、「フェイスブックなどSNSで浦河の魅力を国内外へ発信して」とお願いしている。
- ・ 「ひろおサンタランドツリー点灯式」が26日、広尾町大丸山森林公園で行われた。15万球のイルミネーションが一斉に点灯し、300発の花火が打ち上げられ、クリスマスモードに包まれた。

〔雇用〕

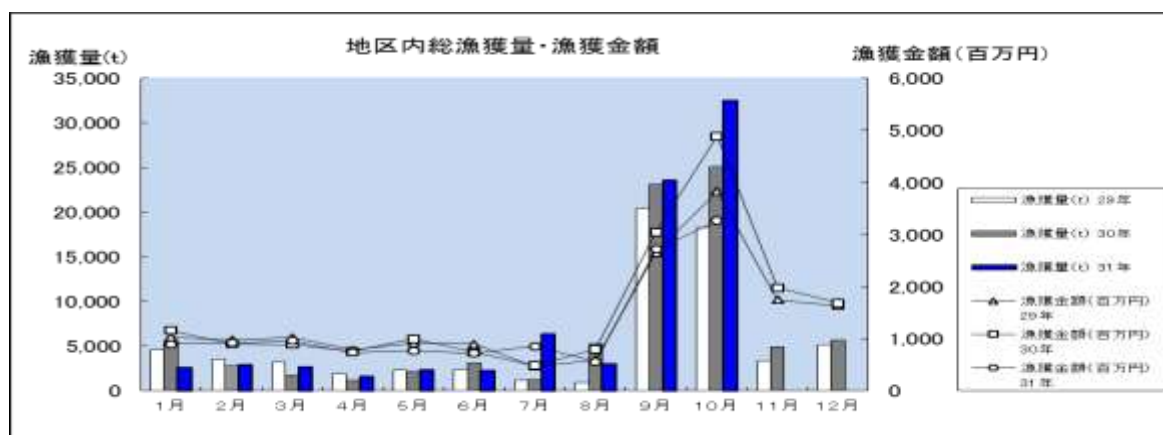
- ・ 浦河地区と全道の月間有効求人倍率は、浦河地区は前年を下回り、全道は前年を上回った。

〔総括〕

- ・ 建設業の月中請負金額(北海道建設業信用保証株の保証金額)、は前年を7億2,400万円上回った。町発注工事は前年を4,700万円上回った。前月比では、国、道発注工事、町発注工事はともに減少している。漁業では、漁獲量は前年を上回り、漁獲金額は前年を下回った。秋サケ定置網漁・イカ・サンマ漁が漁獲量・金額ともに大幅に減少、秋サケは回復が期待されたが、不漁が続いている。軽種馬産業は、オータムセールが開催され、売却総額は10億2,377万円となり、今季の販売総額は118億1,100万円と過去最高を更新した。小売業は、消費税増税の影響はさほど感じさせないものの、総体的に動きは鈍かった。基幹産業の軽種馬産業は好調に終わったが、漁業は不振となっている。地区内のイベント等もなく、個人消費も停滞感が窺え、総体的に動きは鈍く、景況はやや下降となっている。

漁業・水産加工業

〔沿岸漁業〕 秋サケ定置網漁、カレイ、タコ、ツブ漁等。〔沖合い漁業〕 底曳き網、イワシ漁等。
 総漁獲量 32,537ト、金額 32億6,500万円(前年同月比7,475ト増・16億2,200万円減)



定置網漁	2,270 t	1,348 百万円	(前年同月比 1,865 t 減	・1,546 百万円減)
カレイ漁	37 t	23 百万円	(前年同月比 6 t 減	・ 6 百万円減)
タコ漁	47 t	23 百万円	(前年同月比 16 t 減	・ 15 百万円減)
ツブ漁	106 t	131 百万円	(前年同月比 31 t 増	12 百万円増)
底曳き網漁	2,096 t	188 百万円	(前年同月比 473 t 増	・ 6 百万円増)
タラ・スケソウ漁	323 t	133 百万円	(前年同月比 75 t 減	・ 13 百万円増)
イカ漁	22 t	18 百万円	(前年同月比 116 t 減	・ 71 百万円減)
サンマ漁	75 t	23 百万円	(前年同月比 621 t 減	・ 67 百万円減)
イワシ漁	26,996 t	710 百万円	(前年同月比 9,904 t 増	・ 154 百万円増)
シシャモ漁	136 t	133 百万円	(前年同月比 111 t 減	・ 72 百万円減)
ブリ漁	57 t	4 百万円	(前年同月比 9 t 減	・ 10 百万円減)
昆布	243 t	491 百万円	(前年同月比 41 t 減	・ 21 百万円増)
その他	129 t	40 百万円	(前年同月比 73 t 減	・ 41 百万円減)

- ・ 10月の総水揚げ。漁獲量は前年を7,475ト上回り、漁獲金額は16億2,200万円下回った。主力の秋サケ漁は回復せず、漁獲量、金額ともに前年比大幅な減少となっている。漁獲量の大幅な増加は、広尾地区のイワシ漁が26,996トの水揚げと好調で、総体の水揚げ量を押上げている。
- ・ 10月31日現在の日高沿岸秋サケ定置網漁は、前年同期比のほぼ半減と回復していない。漁獲量は前年同期比で57.8%、金額は52.4%とほぼ半減。3年連続で記録的な不漁になった岬以東のえりも海域も回復していない。漁獲量は3,345ト(前年同期5,792ト)、金額は20億7,213万円(同39億5,618万円)。静内から西側の水揚げ量は昨年実績を上回っているが、過去5カ年同期平均と比べると、全域で平均以下となっている。えりも岬海域の水揚げ量はこの5カ年平均の5分の1、金額は4分の1と深刻な状況になっている。
- ・ 日高沿岸のブリ漁が好調となっている。管内で水揚げ量が最も多い、ひだか漁協(新ひだか)の今年の実績は10月25日時点で741トに達し、過去最高の昨年の914トに迫っている。ブランド化が軌道に乗りつつあり、本州への流通量も増加している。水揚げ金額も昨年は2億1,500万円、今年は既に1億9,800万円となっている。主に秋以降、定置網にかかり、9月には三石漁港で1日100ト以上が揚がったこともあった。

(対象は新ひだか、浦河、様似、えりも、広尾の各地区) (「t」はトンを表しています)

農業・軽種馬生産業

〔軽種馬生産業〕

- ・ 日高軽種馬農協主催のサラブレッド競り市は、本年度の全日程を終え、年間売却総額が前年同期比5.2%増の118億1,100万円と過去最高を更新した。2年前の116億1,200万円を上回り、100億円を3年連続で突破。競馬人気の回復で新たな馬主らが積極的に購入しており、軽種馬関係者は歓迎している。同農協の競り市は、馬の成長に合わせ5～10月に5回開催。好調の背景には、インターネットによる馬券の購入拡大など競馬人気の回復がある。中央、地方競馬ともに売れ行きは好調で、相乗効果でレース賞金も上昇。ITや建設業などの企業経営者らが競走馬を買い求めている。

〔農業〕

- ・ 新ひだか町静内地区で収穫された新米の出荷が1日、一斉に始まった。初出荷分は約9トで全量が1等米だった。今年は春先の低温続きで生育状況が心配されたが、夏場の気温上昇と天候の回復でまずまずの出来となった。農林水産省が発表した水稻の作況指数(9月15日時点)は、日高管内が全道平均を上回る106の「良」だった。
- ・ 新ひだか町三石蓬菜のアスパラや花きを生産・販売する「農業生産法人・(株)ファームホロ」が9月、食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられるJGAP(青果物)の認証を日高管内で初めて取得した。JGAP(「農業生産工程管理」や「良い農業のやり方」などの意味)は、農場や農協などの生産者団体が活用する農場・団体管理の基準で、農林水産省が導入を推奨する農業生産工程管理手法の一つ。一般財団法人日本GAP協会が認証を実施し、ファームホロは9月6日に取得し、17日にJGAP認証書が発行された。
- ・ 日高振興局は29日、豚コレラなどの家畜伝染病に備えるため、海外悪性伝染病警戒本部幹事会を開いた。管内には14戸の養豚場があり、うち千頭以上を飼養する養豚場は4戸ある。

〔花き栽培〕

- ・ 10月の花き出荷実績は、105万本、金額1億2,690万円(前年119万本、1億7,070万円)。

建設業

〔公共工事〕

- ・ 日高管内の国・道・町発注公共工事の月中請負金額(北海道建設業信用保証株の保証請負金額)は、17億7,100万円で、前年同月比で7億2,400万円増加した。

〔町発注工事・建築確認申請〕 (令和1年10月)

	工 事 件 数				金 額 (百万円)				確認申請件数
	土 木	建 築	その他	計	土 木	建 築	その他	計	
新ひだか町	1	1	0	2	8	45	0	53	5
浦河町	0	5	0	5	0	53	0	53	0
様似町	2	0	0	2	50	0	0	50	1
えりも町	2	4	2	8	6	7	6	19	2
広尾町	0	0	3	3	0	0	14	14	0
計	5	10	5	20	64	105	20	189	8

- ・ 町発注工事(新ひだか～広尾地区)は20件、1億8,900万円となった(前年同月24件1億4,200万円)。工事発注状況を見ると、前年同月比では、件数は4件下回り、金額は4,700万円上回った。
- ・ 月中受付の建築確認申請件数(新ひだか～広尾地区)は8件で、前年を3件上回った。

木材・製材業

〔木 材〕

- ・チップ材の出荷状況(広尾地区)は、数量が623ト(前年996ト)で前年比37.4%の減少。出荷金額は1,098万円(同1,780万円)で前年比38.3%の減少。

〔製 材〕

- ・建材、プレカット材等は建築業者からの注文で前年並みで推移している。

卸・小売業・観光

〔卸売業〕

- ・ミカン、リンゴ、カキの果物類は本州産が主。道内産野菜は、大根、人参、白菜、キャベツが多く出荷され、レタス、キュウリ、ナスは本州産となっている。浦河・様似の地元産イチゴの「すずあかね」は11月まで出荷が続く。

〔小売業・飲食業〕

- ・十勝管内広尾町で、広尾特産のシシャモを味わい、スタンプを集めてプレゼント抽選に応募できる「ししゃもラリー」が12日、町内でスタートした。11月17日まで。今年は6飲食店とホテル1館、1商店、6鮮魚店が参加。スタンプ2個で1,000円相当、4個で3,000円相当、6個で5,000円相当の特産品や水産加工品が抽選で当たる。去年は前年を14件上回る204件の応募があった。
- ・新ひだか町三石の菓子店「八木菓子舗」が、11月1～3日に東京の明治神宮で開かれる秋の例大祭に主力商品の「三石羊羹」を奉納する。奉納は20回目になる。明治神宮は毎年、全国特産物奉獻行事として全国各地から厳選した特産品を社殿横の回廊に陳列している。今年是全国から約400点、道内からは約20点が選ばれ、展示される。三石羊羹は十勝産の「エリモ小豆」を使い、約12時間かけて製造している。同店は来年、創業から110周年になる。

〔観光・その他〕

- ・「第38回えりも海と山の幸フェスティバル」が6日、スポーツ公園で開かれ「サケのつかみ取り」や地場産農水産物の即売など多彩なイベントでにぎわった。管内や札幌、十勝方面などから約6,000人の入場者があり、晩秋の1日を楽しんだ。サケのつかみ取りには抽選で100人が当選。
- ・「2019しずない農業まつり」が13日、JAしずないで開かれ、新米や秋野菜など地場農産物の販売、豪華農産物が当たる抽選会やイベントに、町内外から約1,600人が来場し収穫の秋を楽しんだ。最後は、名物の100^キ分の農産物などが当たるお楽しみ抽選会で盛り上がった。
- ・「秋さけ祭り」が20日、日高中央漁協(浦河)の市場で開かれ、旬の秋サケをはじめ地場産海産物の格安販売でにぎわった。秋サケオス1匹2,000円、メス3,000円。高級魚のキンキ大小5匹、灯台ツブ十数個、カジカなど鮮魚が5匹程度入ったブラックボックスが500円と人気を集めていた。
- ・「さまに地場産フェア」が27日、中央公民館駐車場で開かれ、秋サケの山漬けや新巻き、様似産黒毛和牛、新米や魚介類を求めて長い行列ができ、子どもたちもサケのつかみ取りなどを楽しんだ。会場は、お目当ての3,000～5,000円のサケ山漬けや格安和牛を求める人でにぎわった。
- ・日高沿岸のブリ漁が好調となっている。管内で水揚げが最も多い、ひだか漁協(新ひだか)の今年の実績は25日時点で741トに達し、過去最高の昨年の914トに迫っている。2年連続の豊漁に恵まれたことで、ブランド化が軌道に乗りつつあり、本州への流通量も増加。町内の飲食店では、秋限定のブリ料理が人気となっている。水揚げ金額も去年は2億1,500万円で、今年も既に1億9,800万円と、主要魚種の一つになりつつある。主に秋以降、定置網にかかっている。

倒産・雇用状況

〔管内の倒産〕

- 当金庫管内(新冠町～えりも町)の倒産は、0件(前年同月0件)、負債総額はゼロ(同ゼロ)。
当金庫管内を含む苫小牧管内の倒産は、0件(前年同月1件)、負債総額はゼロ(同2億6,000万円)。

〔道内の倒産〕

- 北海道の倒産件数は12件(前年同月15件)、負債総額は22億7,000万円(同23億9,000万円)、倒産件数は前月比1件増加、前年比3件減少となった。
(東京商エリサーチ)

〔全国の倒産〕

- 全国の倒産件数は780件(前年同月730件)、負債総額は885億7,000万円(同1,176億1,000万円)。
倒産件数は前月比78件増加、前年比で50件増加した。

〔雇 用〕

- 10月の浦河地区の月間有効求人倍率は1.52倍で前年比0.29ポイント、前月比0.13ポイント下降した。有効求人数は939人で前年比229人減少、前月比で56人の減少となった。有効求職者数は619人で前年比28人減少、前月比で17人増加した。全道の月間有効求人倍率は1.27倍で前年比0.06ポイント上昇した。

その他

管内生産馬、中央競馬重賞レース勝馬

- 10/6 第70回 毎日王冠 (G II)
ダノンキングリー 号 (浦河町 三嶋牧場 殿生産)
- 10/14 第67回 府中牝馬ステークス (G II)
スカーレットカラー 号 (新冠町 (株)ノースヒルズ 殿生産)
- 10/15 第21回 東京ハイジャンプ (J・G II)
シンゲンマイケル 号 (新冠町 ヒカル牧場 殿生産)
- 10/26 第62回 スワンステークス (G II)
ダイアトニック 号 (浦河町 酒井牧場 殿生産)

日高沿岸秋サケ定置漁業の漁獲速報 (累 計) (10月31日現在)

地 区	旧漁協名	漁場数	漁獲重量	前年同期	前年比	漁獲金額	前年同期	前年比
			(k g)	(k g)	(%)	(千円)	(千円)	(%)
えりも	庶野	5	310,027	425,340	72.9	189,239	275,910	68.6
以東西部	えりも町	3	67,858	116,110	58.4	43,949	77,338	56.8
(庶野～襟裳岬)	合計	8	377,885	541,450	69.8	233,188	353,249	66.0
	えりも町	9	479,380	1,238,979	38.7	318,176	836,291	38.0
	冬島	3	277,763	763,935	36.4	180,027	501,084	35.9
	様似	4	393,563	1,081,684	36.4	260,221	755,752	34.4
えりも	浦河	4	305,564	602,737	50.7	205,020	427,018	48.0
以西日高	荻伏	2	311,451	518,899	60.0	201,909	369,360	54.7
(襟裳岬～門別)	三石	3	357,252	366,290	97.5	201,298	251,021	80.2
	静内	6	448,447	383,897	116.8	252,783	263,464	95.9
	新冠	3	241,487	174,272	138.6	136,657	119,839	114.0
	門別町	4	152,731	120,455	126.8	82,855	79,106	104.7
	合計	38	2,967,639	5,251,148	56.5	1,838,945	3,602,935	51.0
日高管内合計		46	3,345,524	5,792,598	57.8	2,072,133	3,956,184	52.4

(注) 調査区域：浦河地区、新ひだか町静内地区及び三石地区、新冠地区、様似地区、えりも地区、広尾地区

《 指 標 》

1 営業区域の人口・世帯数動向（令和1年10月現在） （単位：人）

町 村 別	人 口			世 帯		
	人 数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
平 取 町	4,978	-116	-17	2,539	-36	-12
日 高 町	11,676	-278	-13	6,131	-82	-9
新 冠 町	5,506	-71	-6	2,777	23	-1
新ひだか町	22,272	-455	-23	11,657	-114	-15
浦 河 町	12,200	-280	3	6,688	-78	4
様 似 町	4,244	-90	-6	2,175	-38	0
えりも町	4,638	-89	-11	2,132	8	4
日高地区合計	65,514	-1,379	-73	34,099	-317	-29
広 尾 町	6,690	-218	2	3,328	-49	-1
大 樹 町	5,528	-100	3	2,733	1	-2
日高・十勝地区合計	77,732	-1,697	-68	40,160	-365	-32
札 幌 市	1,970,420	3,897	368	964,465	10,578	799
江 別 市	119,573	587	63	57,993	803	64
石 狩 市	58,284	-124	9	27,853	243	35
北 広 島 市	58,317	-378	-58	27,735	183	-1
恵 庭 市	70,050	216	41	33,772	476	44
千 歳 市	97,513	453	103	50,030	800	64
石狩地区合計	2,374,157	4,651	526	1,161,848	13,083	1,005
苫 小 牧 市	171,272	-468	-16	89,424	1,006	25
厚 真 町	4,546	-64	-13	2,135	-21	-8
む か わ 町	7,933	-246	-18	4,122	-108	-12
胆振地区合計	183,751	-778	-47	95,681	877	5
営業区域合計	2,635,640	2,176	411	1,297,689	13,595	978

注：日高町の人口数に外国人登録者数は含まれていません。

（資料出所：各市町村）

2 労働需給状況（令和1年10月）

（単位：人、％）

	浦河職安	全 道	前年同月比		前月比	
月間有効求人数	939	95,498	-229	1,716	-56	184
月間有効求職者数	619	75,296	-28	-2,161	17	-375
月間有効求人倍率	1.52	1.27	-0.29	0.06	-0.13	0.01

（資料出所：北海道労働局）

3 建築確認申請（令和1年10月）

（単位：件）

		件 数	前年同月比	前 月 比
当 金 庫 管 内	当 月 の 申 請	8	3	3
(新ひだか町～広尾町)	平成31/4～令和1/10 累計	70	-8	

（資料出所：各市町村）

4 企業倒産状況(令和1年10月)

(単位: 件、千万円)

	件数	金額	前年同月比(件数)	前年同月比(金額)	業種	地区
苫小牧管内	0	0	-1	-26		
うち新冠町～えりも町	0	0	0	0		
北海道	12	227	-3	-12		
全国	780	8,857	50	-2,904		

(資料出所: 東京商工リサーチ)

5 浦河町・新ひだか町 金融機関預金・貸出金残高(令和1年10月)

(単位: 百万円、%)

預 金			貸 出 金		
残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
144,724	1.04	1.00	145,175	1.03	1.01

(資料出所: 浦河・静内金融協会)

6 浦河町・新ひだか町 手形交換高

(単位: 枚、百万円、%)

	1年10月	前年同月比	前 月 比
交換枚数	225	-26.71	-19.06
交換金額	436	-5.22	-1.36
不渡り手形枚数	0	—	—
不渡り手形金額	0	—	—

(資料出所: 浦河・静内金融協会)

7 気象情報(札幌管区気象台発表)

令和1年10月中の気象状況

(単位: °C、mm、h)

	本 年			平年偏差・平年比			平年偏差、平年比は、1981～2010年の資料から算出された平年値を使用。気温は当月の平均気温から平年値を差し引いたもの(平年比)。降水量、日照時間は当月の降水量・日照時間の平均を平年値で割り返したものの(平年偏差)。
	気 温	降水量	日照時間	気 温	降水量	日照時間	
浦 河	13.7	210.5	161.8	1.7	212.0	92.5	
広 尾	12.0	334.5	133.7	1.1	195.2	79.8	

(資料出所: 国土交通省・気象庁)

8 各町の水道使用量(令和1年10月)

(単位: t、%)

	一般家庭用	前年比	事業用	前年比	合 計	前年比
新ひだか町静内	93,653	0.6	45,538	6.4	139,191	2.4
新ひだか町三石	15,817	-0.9	10,636	-10.8	26,453	-5.2
浦 河 町	56,453	-2.2	26,187	5.2	82,640	0.0
様 似 町	23,880	1.4	11,864	1.4	35,744	1.4
え り も 町	23,105	-3.2	10,183	-3.1	33,288	-3.1
広 尾 町	30,439	-1.9	14,431	3.0	44,870	-0.4

(資料出所: 各町)

トピック

日高振興局からのお知らせ

日高振興局では、地域の特色や優位性を皆様に広くアピールさせていただくために、農業、林業、水産業、商工業など幅広い分野で、日高のすばらしさを紹介しています。

今回は、林業分野の取組について紹介します。

■魚道の清掃活動を実施しました。

令和元年(2019年)7月23日、新冠町(岩清水地区)のポキアアップ川支流において、林務課で施工した治山ダムの魚道清掃を行いました。

当日は、北海道森林土木建設業協会日高支部やNPO法人北海道魚道研究会に所属される会員のご協力のもと、今年度、日高振興局に新規採用された若手職員などを含む総勢46名により、河川の本流と支流の2グループに分かれ、大雨などの影響で魚道内などに堆積した土砂などをスコップやバケツを使って取り除きました。

日中は、曇りながらも気温が高く、参加者は汗を流しながらも熱心に作業を進めた結果、魚道には水がスムーズに流れ込み、流量が増したことを確認できました。

魚道の辺りは多くのヤマベが生息しており、魚道機能が回復したことで、魚たちの生息環境の改善に貢献できたものと考えています。

本取組は、今回で11回目となりましたが、溪流生態系の連続性を保っていくため、今後も官民協働により取組を続けていきたいと考えています。



お問い合わせは産業振興部林務課 (Tel0146-22-9313) まで。

もくいく

■管内各地での木育活動について

『木育』とは、子どもをはじめとするすべての人が「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取組であり、北海道で生まれた言葉です。この『木育』を推進する活動を、今年もたくさんの地域の皆様とともに進めてきました。



【夏休み木工教室】



【子どもたちと森の散策】



【各団体との植樹活動】

これからも、わたしたちは皆様と『木育』を推進してまいります。

『木育』についてのお問い合わせは森林室主査(木育推進Tel0146-22-2452)まで。

フリーローン「アクア」 期間限定ご契約キャンペーン



特典 **JCBギフトカード3,000円**分プレゼント!

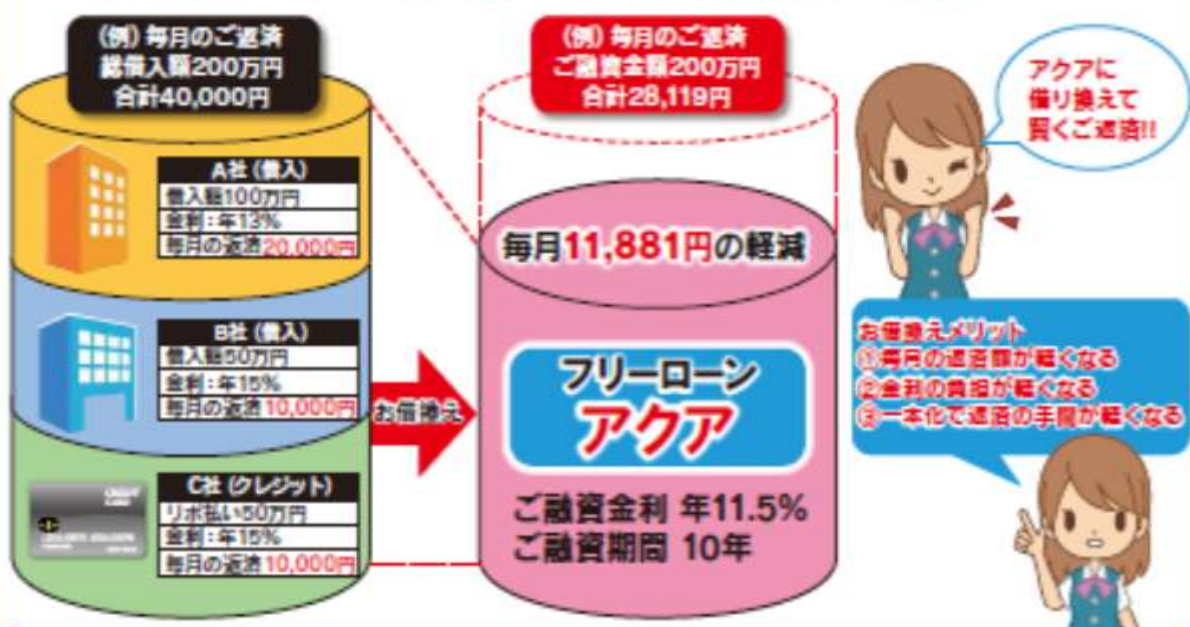
- 適用条件**
- ①令和1年10月1日(火)~令和2年2月28日(金)までにご契約の方
 - ②ご融資金額30万円以上で、かつご融資期間が3年以上の方



★ご存じですか? 「アクア」はお使いみちが自由。お見積不要です!

農業 関連	漁業 関連	自動車購入	車検・修理
不動産購入	リフォーム資金	教育資金	結婚資金
家電購入	医療費用	慶弔関係	お見積不要!

★ご存じですか? 「アクア」はリボ払いも“お借換え”できます!



詳しくは、窓口または担当の営業係におたずねください。

●ローンのご利用は計画的に!無理のない返済計画を立て、借りすぎにはご注意ください。

2019年10月



ひだかしんきん営業のご案内

ATM	本店	〒057-0013 浦河郡浦河町大通 2 丁目 31 の 2	☎ (0146) 22-4111
ATM	堺町支店	〒057-0034 浦河郡浦河町堺町西 1 丁目 83 の 59	☎ (0146) 22-5611
ATM	静内支店	〒056-0016 日高郡新ひだか町静内本町 1 丁目 1 の 15	☎ (0146) 42-1531
ATM	三石支店	〒059-3108 日高郡新ひだか町三石本町 197 の 23	☎ (0146) 33-2311
ATM	様似支店	〒058-0014 様似郡様似町大通 2 丁目 35 の 2	☎ (0146) 36-2341
ATM	えりも支店	〒058-0204 幌泉郡えりも町字本町 170 の 1	☎ (01466) 2-2311
ATM	広尾支店	〒089-2615 広尾郡広尾町本通 8 丁目 7 の 1	☎ (01558) 2-3161
	札幌支店	〒060-0004 札幌市中央区北 4 条西 5 丁目 1—4 大樹生命札幌共同ビル 4 階	☎ (011) 200-7070

ATM 営業時間 平日 8:45~18:00

※札幌支店を除く各店舗に「ハンドセット搭載機」の ATM が設置されております。

土曜日 ATM 稼働店：本店・堺町支店・静内支店・三石支店・様似支店・えりも支店・広尾支店

土曜日 ATM 営業時間 9:00~17:00

日曜・祝日 ATM 稼働店：本店・静内支店

日曜・祝日 ATM 営業時間 9:00~17:00

店外 ATM

浦河町役場内 ATM 浦河郡浦河町築地 浦河役場内 1 階ロビー

店外 ATM 営業時間 平日 9:00~16:00

浦河赤十字病院内 ATM 浦河郡浦河町東町 浦河赤十字病院内 1 階ロビー

店外 ATM 営業時間 平日 9:00~18:00

パセオ堺町店内 ATM 浦河郡浦河町堺町 店内フロア

店外 ATM 営業時間 平日・土曜・日曜・祝日 9:00~19:00

マックスバリュ静内店内 ATM 日高郡新ひだか町静内木場町 店内フロア

店外 ATM 営業時間 平日・土曜・日曜・祝日 9:00~19:00

※店外 ATM は、全て「ハンドセット搭載機」です。

※ハンドセット付 ATM：プッシュボタン付受話器から、音声ガイダンスにより操作手順をご案内する ATM です。



業務部地域貢献課

〒057-0013 浦河郡浦河町大通 2 丁目 31 の 2

電話 (0146) 22-4100 FAX (0146) 22-6106

URL <http://www.shinkin.co.jp/hidaka/>